

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
35204	ハングルの理解 Understanding Korean	朴 成柱			1	選択	1. 2後期

科目の概要

①韓国語の文字（ハングル）及び基礎文法を学修し、韓国語による自己紹介や日常会話を駆使することができるようになることを目標にしている。②韓国語を修得する際に難しく思いがちな発音や単語などを日本語と比較しながら学ぶことで、両国の言葉の類似・相違点を気づかせ、韓国語の理解力を高める。③「読む、書く、聞く、話す」ことをバランス良く入れ、コミュニケーション能力を高め、韓国の生きた文化や生活習慣に触れ、韓国語の理解を深めることを目指す。④効率的な言語習得を通じて、独自の発想による表現ができるようになると同時に、自立した社会人として自らの可能性を生かしつつ組織や社会の中で貢献できることと期待される。これらはディプロマ・ポリシー②③④に関連している。

学修内容	到達目標
① 発音練習：日本語と比較しつつ、発音の違いについて学ぶ ② パッチムの言語的機能を修得し、活用することができるようになること。 ③ 使用頻度の高い動詞を習得し、活用することができるようにする。 ④ 過去形と否定文の定型について習得し、活用できるようにする。 ⑤ 韓国の「詩」をよむことで、独特な言語文化について学ぶ。 ⑥ ことわざ、四字熟語など通じて韓国人の心理について理解を深めると同時に日本語との比較を試みる。	① 単語を正しく発音することができる。② ② 韓国語を正しく読むことができる。② ③ 過去形と否定文を活用でき、韓国語の表現を更に向上することができる。②③ ④ 適切な動詞を用いた日常会話の表現が広がることができる。③ ⑤ 会話の表現を工夫して伝えることができる。③④ ⑥ 日記／ブログを書き、発表することができる。③④

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	韓国語の読み、書き、聞きを達成という目標に向かって自ら積極的に教科書や音声聞きながら、自己学習に取り組むことができる。
	働きかけ力	コミュニケーション能力を高めるため、他者に声掛けをして韓国語の会話練習に取り組むことができる。
	実行力	韓国語で日常会話を言えるように文法や発音を繰り返し練習し最後までやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	韓国語の学習の上で、自分で課題を見つけ改善を図ることができる。
	計画力	・発表の準備や課題を、期間守りやり遂げることができる。 ・グループ内での役割分担、手順を順序よく進めることができる。
	創造力	日本語との語順の類似性を生かして、自ら韓国語で文章を考えることができる。
チームで働く力	発信力	自己紹介や韓国語の作文を、聞き手に分かりやすい発表の仕方や話すポイントが整理されて発表することができる。
	傾聴力	他者の発表やグループワークの中で他者の意見をしっかりと傾聴して、コミュニケーションを楽しむことができる。
	柔軟性	韓国語の学習を通じて、隣国の異なる文化や思想を持つ人々の気持ちを理解することができる。
	状況把握力	自分に割り当たられたことだけではなく、グループで、自分ができることを考え、目標に向かって協力できる。
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

テキスト及び参考文献

- ・金京子・喜多恵美子『パランセ 韓国語 初級』朝日出版社
- ・生越直樹・曹喜徹『韓国朝鮮語初級テキスト ことばの架け橋（말의 가교）（改訂版）』白帝社

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「韓国語会話Ⅰ」
資格との関連：特に無し

学修上の助言	受講生とのルール
日本語と語順が類似しているので、各単元の単語をしっかりと暗記することで、韓国語が話せるようになります。話せるようになるとさらに韓国語に興味を持って、楽しく学ぶ事が出来ます。	・授業中、携帯電話は電源を切り、カバンに入れておくこと。 ・出された課題は積極的に取り組む。 ・グループワークに積極的に参加すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	30	①	✓	⑥	まとめテストを実施します。（30点） ①後期に実施した小テストやプリントを中心に、授業で学習した内容の理解度を確認する ②授業で発表した自己紹介についての筆記試験を行う	
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
	平常評価	小テスト	20	①	✓	⑥	小テストは、単語と表現の読み書きを中心に出题する(20点) ・場合によっては聞き取りテストも行う ・出題範囲は前回の授業で学習した内容とする ・返却されたテストで間違えた問題をテスト用紙に正しく書き直して、再提出する ・すべての小テストの点数の平均点を基準に、成績評価に反映する ・欠席届を提出した学生と、先生に申し出た学生は次の授業前、又は授業後に小テストを受けること ・無断で欠席した学生は小テストを受けることができず0点になる可能性がある	
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		レポート	20	①	✓	⑥	課題は①返却されたテストの間違った問題を再度間違いのないよう解いて提出する ②学習状況に合わせた作文を提出する。 ・学習状況によっては、上記に加え、テキストの各単元の単語と練習問題を解いて提出する場合がある ・間違いがある場合、指示通りにやれてない場合は再提出となる ・間違いを直せず再提出が多い場合は、レポート評価が下がる可能性があるなので必ず提出前に自身で見直しをすること	
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	✓	⑥	①テキストの本文をペアで口頭発表し、以下の点を基準に評価する（5点） ・暗記して発表すること ・正しい発音で発表すること ・個人ではなく、ペアの評価で点数がつく ②「韓国語でアイドルの歌を発表」グループで歌唱、又は朗読し、以下の点を基準に評価する（5点） ・韓国語の歌詞を正しい発音で発表すること ・歌唱か朗読かはグループで決める ・個人ではなく、グループ全体の評価で点数がつく ③自己紹介の口頭発表を行い、以下の項目を基準に点数をつける（5点） ・正しく暗記して発表出来るか ・正しい発音で発表出来るか ・内容を工夫してあるか ④日記／ブログを書く（5点） ・一日の出来事を日記形式で書き、発表する ・自分の興味のある分野をブログ形式で作成し、発表する	
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	(主体性) ・語学力を身につけるために、自ら予習、復習をすることができる。 (実行力) ・授業で学習したことを日常的な場面で意欲的に取り入れる。 (課題発見力) ・様々な場面で使える表現を意識し、意欲的に取り組むことができる。 (創造力) ・課題に対して、学修した文法や単語を応用して、表現することができる。 (発信力) ・聞き手に分かりやすく、自ら考え工夫して発表する。 (傾聴力) ・話し手の話を聞き、しっかり聞くことができる。 (規律性) 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)まともテスト、小テストが90%以上であり、レポートの提出、授業中の態度、発表、グループワーク活動が優れている。 A(優)まともテスト、小テストが89%～80%以上であり、レポートの提出、授業中の態度、発表、グループワーク活動に積極的に参加できる。	B(良)まともテスト、小テストが79～70%以上であり、授業中の態度、発表、グループワーク活動に意欲的に参加できる。 C(可)まともテスト、小テストが69～60%以上であり、授業中の態度が良好で、用言の해요体、否定形、過去形の読み書きができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション ・授業の進め方や取り組み方 ・グループワークのグループ作成	講義 演習 発音練習 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	授業で使う挨拶ができる。	(復習)ご挨拶ができるように復習する (60分) (予習) バッチムについて学習してくる (30分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
2	バッチムについて学習する バッチムによる発音の違いについて学ぶ。 (前期の学習内容の復習)	講義 発音練習 演習 小テスト (間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	バッチムによる発音の違いを区別でき、書くことができる	(復習)バッチムの違いによる単語を読み書き繰り返し練習して、単語を読めるようにする。(60分) (予習) バッチム、合成母音を音読する。(30分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
3	バッチム、合成母音を学ぶ。(前期の学習内容の復習)	講義 発音練習 小テスト (間違えた問題を解きなおして提出する) グループワークのため、グループを決める 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	バッチムと合成母音を読むことができる。	(復習) バッチムがある単語を正しく音読する。合成母音の単語の読み書きを復習する。(60分) (予習) 歌の発表に向けて、歌詞を読んでおく。(30分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
4	・平音、激音、濃音、バッチムの総復習 ・韓国語の歌詞を正しく読む。	講義 発音練習 演習 小テスト (間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	バッチムのある単語を正しく読むことが出来る。 韓国語の歌詞を正しく読むことが出来る。	(復習) バッチムがある単語を確かめながら、繰り返し音読する。(30分) (予習) 韓国の歌をグループごとに練習をする。(60分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
5	韓国の歌をグループごとに歌う。	講義 演習 発音練習 発表 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	韓国の歌を歌うことで、単語の意味と発音の仕方を習得することが出来る。	(復習) 歌詞に出る単語を音読する。(60分) (予習) 文法編7課の単語を覚える。(30分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
6	文法編 第1課 私の名前は藤井笑み恵美です。 ①「～は」 ②「～です」 ③「～ですか」を学ぶ。	講義 演習 小テスト (間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	自己紹介で自分の趣味を言うことができる。	(復習)「名詞＋は＋です」という表現を組み合わせて言えるように復習する。(60分) (予習) 文法編 2課の単語を覚えておく。(30分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
7	文法編 第2課 私は学生ではありません。 ①「～ではありません」 ②「～ではなく」 ③「～に・へ (方向・目的地)」を学ぶ。 名詞の疑問詞を使って質問したり、質問に対する返事ができるようになることを目的とする。	講義 演習 小テスト (間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	名詞の疑問詞を使って質問したり、相手の質問に対して否定文で返事をする事が出来る。	(復習) 授業で学習した名詞の疑問詞、否定文の表現を言えるように復習しておく。(60分) (予習) 3課の単語を覚えておく。(30分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
8	文法編 第3課 携帯の番号は何番ですか。 ①～「漢数字」 ②～「～しています」 ③～「～を」を学ぶ。 「何ですか？」に対する、答えができるようになることを目的とする。	講義 演習 小テスト (間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	「～は何ですか？」の文章を使った質問と質問に対する返事をする事が出来る。	(復習)授業で学習した「～はなんですか？」の表現に対する答えが言えるように復習する。(60分) (予習)4課の単語を覚える。(30分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	文法編 第4課 私の辞書は家にあります。 ①합니다体「～ます(か)・です(か)」 ②「存在詞の「있다」と「없다」」 ③「(助詞) ～に(存在・位置)」を学ぶ。	講義 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	ものがどこにあるのかを質問したり、答えたりすることができる。	(復習)文法事項を復習する。(60分) (予習)5課の単語を覚える。(30分)	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
10	文法編 第5課 誕生日はいつですか? ①年月日/曜日 ②「～が」 ③「～(助詞の縮約形)」を学ぶ。「～したい」という希望をいうことができるようになることを目的とする。	講義 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	今日の日付を韓国語で表現することができる。	(復習)授業で学習した「今日は何曜日ですか」の表現を覚えて、言えるように音読する。(60分) (予習)6課の単語を覚えておく。(30分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	文法編 第6課 私より2歳年下です。 ①「固有数詞」 ②「～しません・～くありません 用言の否定型①」 ③「～より」を学ぶ。意志表現と自己紹介が出来ることを目的とする。	講義 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	否定文を作ることが出来る。	(復習)文法事項を復習する。(60分) (予習)7課の単語を覚える。(30分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
12	文法編 第7課 何に興味がありますか? ①時間:固有数詞+시(時)、漢数詞+분(分) ②「～しましょうか」 ③「～に(時)」を学ぶ。해요体について学び、用言を中心に新しい単語を覚えるようになることを目的とする。	講義 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	韓国語で相手の意志を確認したり、提案をしたりできるようになる。	(復習)相手の意志を確認したり、提案をしたりする際に使われる表現を音読する。(60分) (予習)8課の単語を覚える。自己紹介発表の準備をする。(30分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
13	文法編 第8課 日本語学校には行かないのですか? ①用言の否定型 ②～있습니다「～します、つもりです」 ③～부터～까지「～から(時間の起点)～まで」 ④～해요体を学ぶ。否定形をマスターして韓国語の表現範囲を広げようになることを目的とする。自己紹介を発表する。	講義 演習 発表 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	否定形を言うことができる。自己紹介が出来る。	(復習)否定形を繰り返し練習し、読み、書きができるようにする。へヨ体と否定形を繰り返し音読する。(60分) (予習)9課の単語を覚える。(30分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
14	オンデマンド:韓国語作文(以下、二者択一) ①自分の興味のあるテーマについて、ブログ形式で作文する ②日常の気づきなどを日記で振り返る	演習 発表 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	自分の興味のあるテーマについて、韓国語で作文することができる	(復習)自分の思い／考えを韓国語で表現する。(60分) (予習)過去形の文法について復習する。(30分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	文法編 第13課 ご両親へのおみやげは買いましたか。 ①～았/었/였다「～た」過去形Ⅰ ②希望表現「～したい」 ③～세요/～으세요「～してください」を学ぶ。過去形を言えるようになることを目的とする。	講義 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	過去形を言うことができる。原因の結果の文章を作ることができる。並列の文章を作ることができる。	文法の総復習をする。(90分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力